



5月29日にレベルⅣ研修を行いました！
レベルⅣでは、『後輩の学習を支援する』と『リーダーとしての役割行動』をテーマに、4回/年の集合研修を予定しています。
第1回は『**コーチングを学ぶ**』です。
相手の成長を促すコミュニケーションスキルであるコーチングを、体験して学べるよう工夫しました。

研修の内容

・アイスブレイク

2人一組でテーマトークをしてもらいました。
相手の反応によって話しやすさは変わるということを体験してもらいました。

・講義『コーチングとは』

随原副看護師長から、コミュニケーションスキルとしてのコーチングを講義してもらいました。

・ロールプレイ

コーチングが使われている事例を、2人一組で体験し、コーチングがどのように使われているかを考えました。

研修の反応（アンケートの回答から）

- ・ロールプレイを通すことで、コーチングスキルの使いどころが特によく理解できました。
- ・今、グループ活動や委員会活動などリーダー的な役割を担っているため、今回学んだコーチングのコミュニケーションスキルを活かして、看護の質や後輩、メンバー指導に活かしていきたいと思います。
- ・日々のリーダー業務や1年目の方との関わりを持つようになった中で、今回研修で学んだコーチングのスキルはぜひ活用していきたいと思いました。特に質問のスキルを意識して用いていきたいと思いました。

アイスブレイク



“聞いてくれる”と感じると笑顔で会話が弾みます！

コーチと聞いて、“あのブランド”を答えた人いますか？
じ・つ・は、それ、ナイスアンサーなんですよ。
コーチの由来を是非調べて（または研修生に聞いて）みてください。

ロールプレイ



シナリオを映して、それを読みながら会話をしてもらいました。それぞれに感情を込めていて、表現が上手だなと感心しました！

病棟へ

傾聴、質問、承認 これらを意図的に組み合わせて実践することは、なかなか難しいものです。使いながら慣れていく、自分のものにしていくことが大切です。自身の成長も助けてくれます。
後輩指導やスタッフとの会話場面で実際に使ってみて、次の研修のときに感想や相手の反応を発表してもらいます。
これも“意図的に”場面を作って実践していきましょう！

コーチングとは

相手の自主性を引き出し、自発的な行動に結びつけていくためのコミュニケーション手法

目的は相手の成長

質問によって新しい視点をもたらす



傾聴して内省的な気づきを促す

承認して自発的な行動を促す

アドバイスやティーチング（指導・教育）は控えて、相手が自覚達成するための答えを自分で見つけ出すサポートをする

（講義資料より）